

コマシラバス

科目名	CX経営	時間	60分
科目目標	カスタマージャーニーマップを基に、CX計画を立てることができる。		
コマ目標	CXの感情を明らかにする		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起		CXとは	
	学習目標の提示		CX計画とは	授業態度
	前提条件の確認 (復習)			
展開 (5) 分	情報提示 新しい知識や 事項の提示	テキストP1	CXとは	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)	テキストP1	P1の経験(体験)表の説明	
	学習活動 学んだ事項の練習	P1の経験(体験)表の感情と課題の記入	P1の経験(体験)表の感情と課題の記入	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	発表	発表	
まとめ (10) 分	評価	他グループ発表の評価	発表に対する評価	課題取り組み
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	CX(感情・課題)まとめ	

コマシラバス

科目名	CX経営	時間	60分
科目目標	カスタマージャーニーマップを基に、CX計画を立てることができる。		
コマ目標	心理的・感情的な経験価値を理解する		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示		経験価値を理解する	授業態度
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習	
展開 (5) 分	情報提示 新しい知識や 事項の提示	テキストP2~6	心理的感情的経験価値とは、CSが生まれた背景とCS	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)	身の回りの経験価値抽出	身の回りの経験価値抽出	
	学習活動 学んだ事項の練習	身の回りの経験価値抽出	身の回りの経験価値抽出	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	発表	発表評価とCXの違い	
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	今日のまとめ	

コマシラバス

科目名	CX経営	時間	60分
科目目標	カスタマージャーニーマップを基に、CX計画を立てることができる。		
コマ目標	CXの目的と評価指標		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示		評価の大切さ	授業態度
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習	
展開 情報提示 (5) 分 学習活動 (30) 分	新しい知識や 事項の提示	テキストP7~11	CXの評価尺度の説明	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)	学校のCX評価指標を作成	学校のCX評価指標を作成	
	学んだ事項の練習	学校のCX評価指標を作成	学校のCX評価指標を作成	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	発表	発表評価	
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	今日のまとめ	

コマシラバス

科目名	CX経営	時間	60分
科目目標	カスタマージャーニーマップを基に、CX計画を立てることができる。		
コマ目標	カスタマージャーニーマップを作成する		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示		カスタマージャーニーマップの説明	授業態度
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習	
展開 (5) 分	情報提示 新しい知識や 事項の提示	テキストP12とカスタマージャーニーマッ プ資料	CXのゴールとカスタマージャーニーマッ プ	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)	カスタマージャーニーマップを作成	カスタマージャーニーマップを作成	
	学習 活動 学んだ事項の練習	カスタマージャーニーマップを作成	カスタマージャーニーマップを作成	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	発表	発表評価	
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	今日のまとめ	

コマシラバス

科目名	CX経営	時間	60分
科目目標	カスタマージャーニーマップを基に、CX計画を立てることができる。		
コマ目標	ロイヤルティ獲得のための手法		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示		ロイヤルティ	授業態度
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習	
展開 (5) 分	情報提示 新しい知識や 事項の提示	テキストP13とロイヤルティ分析	ロイヤルティ分析	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)	学校CX調査をもとにロイヤルティ分析	学校CX調査をもとにロイヤルティ分析	
	学習 活動 (3 0) 分	学んだ事項の練習	学校CX調査をもとにロイヤルティ分析	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	発表	発表評価	
まとめ (1 0) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	今日のまとめ	

コマシラバス

科目名	CX経営	時間	60分
科目目標	カスタマージャーニーマップを基に、CX計画を立てることができる。		
コマ目標	CX計画策定(カスタマージャーニーマップ)		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示		CX計画策定の流れ	授業態度
	前提条件の確認 (復習)		前回までの復習	
展開 (5) 分	情報提示 新しい知識や 事項の提示			
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)	テーマに従ったカスタマージャーニー マップ作製	テーマを提示しカスタマージャーニー マップ作製	
	学習 活動 (3 0) 分	学んだ事項の練習	カスタマージャーニーマップ作製	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	発表	発表評価	
まとめ (1 0) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	今日のまとめ	

コマシラバス

科目名	CX経営	時間	60分
科目目標	カスタマージャーニーマップを基に、CX計画を立てることができる。		
コマ目標	CX計画策定(CX評価・ロイヤルティ獲得計画)		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢・計画総合評価		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示		ロイヤルティ獲得計画策定の流れ	授業態度
	前提条件の確認 (復習)		前回までの復習	
展開 情報提示 (5) 分 学習活動 (30) 分	新しい知識や 事項の提示			
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)		CX評価表の作成とロイヤルティ獲得計画	
	学んだ事項の練習	CX評価表の作成とロイヤルティ獲得計画		課題取り組み
	練習に対する フィードバック	発表	発表評価	
まとめ (10) 分	評価	他グループの計画評価		
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	全体のまとめ	

コマシラバス

科目名	経営指標の読み方	時間	60分
科目目標	経営指標を使って、経営改善ポイントがわかる。		
コマ目標	損益計算書の構造		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示		経営指標とは	授業態度
	前提条件の確認 (復習)			
展開 情報提示 (5) 分 学習活動 (30) 分	新しい知識や 事項の提示	テキストP1	損益計算書とは	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学んだ事項の練習	損益計算書作成	損益計算書作成	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	解答解説	解答解説	
まとめ (10) 分	評価			課題取り組み
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	CX(感情・課題)まとめ	

コマシラバス

科目名	経営指標の読み方	時間	60分
科目目標	経営指標を使って、経営改善ポイントがわかる。		
コマ目標	貸借対照表の構造		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5分)	注意喚起			
	学習目標の提示			授業態度
	前提条件の確認 (復習)		損益計算書の復習	
展開 (30分)	情報提示 (新しい知識や事項の提示)	テキストP1	貸借対照表とは	
	学習方法の提示 (理解を促進する手法)			
	学習活動 (学んだ事項の練習)	貸借対照表作成	貸借対照表作成	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	解答解説	解答解説	
まとめ (10分)	評価			課題取り組み
	学習内容の振り返りと 次回の講義の予告	気づきレポート提出	貸借対照表まとめ	

コマシラバス

科目名	経営指標の読み方	時間	60分
科目目標	経営指標を使って、経営改善ポイントがわかる。		
コマ目標	収益性指標を理解する		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			
	前提条件の確認 (復習)		損益計算書・貸借対照表の復習	
展開 (5) 分	情報提示 新しい知識や 事項の提示	テキストP4～5	総資本経常利益率・自己資本経常利益率・売上高総利益率・売上高営業利益率・売上高経常利益率	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学習活動 学んだ事項の練習	総資本経常利益率・自己資本経常利益率・売上高総利益率・売上高営業利益率・売上高経常利益率の算出	総資本経常利益率・自己資本経常利益率・売上高総利益率・売上高営業利益率・売上高経常利益率の算出	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	確認テストと解答解説	確認テストと解答解説	
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	今日のまとめ	

コマシラバス

科目名	経営指標の読み方	時間	60分
科目目標	経営指標を使って、経営改善ポイントがわかる。		
コマ目標	収益性指標を理解する		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5分)	注意喚起			
	学習目標の提示			
	前提条件の確認(復習)		前回の復習	
展開 (30分)	情報提示(新しい知識や事項の提示)	テキストP5~8	売上高経常利益率(償却前)・人件費対売上高比率・諸経費対売上高比率・金融費用対売上高比率・総資本回転率・商品回転期間・受取勘定回転期間・支払勘定回転期間	
	学習方法の提示(理解を促進する手法)			
	学習活動(学んだ事項の練習)	売上高経常利益率(償却前)・人件費対売上高比率・諸経費対売上高比率・金融費用対売上高比率・総資本回転率・商品回転期間・受取勘定回転期間・支払勘定回転期間の算出	売上高経常利益率(償却前)・人件費対売上高比率・諸経費対売上高比率・金融費用対売上高比率・総資本回転率・商品回転期間・受取勘定回転期間・支払勘定回転期間の算出	課題取り組み
	練習に対するフィードバック	確認テストと解答解説	確認テストと解答解説	
まとめ (10分)	評価			
	学習内容の振り返りと次回の講義の予告	気づきレポート提出	今日のまとめ	

コマシラバス

科目名	経営指標の読み方	時間	60分
科目目標	経営指標を使って、経営改善ポイントがわかる。		
コマ目標	収益性指標を算出できる		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点	
導入 (5) 分	注意喚起				
	学習目標の提示				
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習		
展開 分	情報提示 (5) 分	新しい知識や 事項の提示	テキストP4~8	収益性指標演習	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)				
	学習 活動 (3 0) 分	学んだ事項の練習	収益性指標演習	収益性指標演習	課題取り組み
	練習に対する フィードバック		演習解答解説	演習解答解説	
まとめ (1 0) 分	評価				
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	今日のまとめ		

コマシラバス

科目名	経営指標の読み方	時間	60分
科目目標	経営指標を使って、経営改善ポイントがわかる。		
コマ目標	生産性指標を算出できる		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5分)	注意喚起			
	学習目標の提示			
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習	
展開 (30分)	情報提示 (新しい知識や事項の提示)	テキストP4~8	生産性指標演習	
	学習方法の提示 (理解を促進する手法)		従業員一人当たり売上高・従業員一人当たり粗付加価値額・粗付加価値額対売上高比率・従業員一人当たり有形固定資産・粗付加価値額対固定資産額比率	
	学習活動 (学んだ事項の練習)	従業員一人当たり売上高・従業員一人当たり粗付加価値額・粗付加価値額対売上高比率・従業員一人当たり有形固定資産・粗付加価値額対固定資産額比率算出	従業員一人当たり売上高・従業員一人当たり粗付加価値額・粗付加価値額対売上高比率・従業員一人当たり有形固定資産・粗付加価値額対固定資産額比率算出	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	確認テストと解説	確認テストと解説	
まとめ (10分)	評価			
	学習内容の振り返りと次回の講義の予告	気づきレポート提出	今日のまとめ	

コマシラバス

科目名	経営指標の読み方	時間	60分
科目目標	経営指標を使って、経営改善ポイントがわかる。		
コマ目標	生産性指標を算出できる		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5分)	注意喚起			
	学習目標の提示			
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習	
展開 (30分)	情報提示 (新しい知識や事項の提示)	テキストP9～10	生産性指標演習	
	学習方法の提示 (理解を促進する手法)		有形固定資産回転率・従業員一人当たり人件費・人件費対粗付加価値額比率・店舗面積3.3㎡当たり売上高・1客席当たり売上高・1客室当たり売上高	
	学習活動 (学んだ事項の練習)	有形固定資産回転率・従業員一人当たり人件費・人件費対粗付加価値額比率・店舗面積3.3㎡当たり売上高・1客席当たり売上高・1客室当たり売上高算出	有形固定資産回転率・従業員一人当たり人件費・人件費対粗付加価値額比率・店舗面積3.3㎡当たり売上高・1客席当たり売上高・1客室当たり売上高算出	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	確認テストと解説	確認テストと解説	
まとめ (10分)	評価			
	学習内容の振り返りと次回の講義の予告	気づきレポート提出	今日のまとめ	

コマシラバス

科目名	経営指標の読み方	時間	60分
科目目標	経営指標を使って、経営改善ポイントがわかる。		
コマ目標	生産性指標を算出できる		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点	
導入 (5) 分	注意喚起				
	学習目標の提示				
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習		
展開 (5) 分	情報提示 新しい知識や 事項の提示	テキストP4~8	生産性指標演習		
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)				
	学習 活動 (3 0) 分	学んだ事項の練習	生産性指標演習	生産性指標演習	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	演習解答解説	演習解答解説		
まとめ (1 0) 分	評価				
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	今日のまとめ		

コマシラバス

科目名	経営指標の読み方	時間	60分
科目目標	経営指標を使って、経営改善ポイントがわかる。		
コマ目標	安全性指標を算出できる		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習	
展開 (5) 分	情報提示 新しい知識や 事項の提示	テキストP11～	安全性指標演習	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)		当座比率・流動比率・借入回転期間・固定長期適合率・自己資本比率・損益分岐点比率・1企業(店舗)当たり店舗面積	
	学習活動 学んだ事項の練習	当座比率・流動比率・借入回転期間・固定長期適合率・自己資本比率・損益分岐点比率・1企業(店舗)当たり店舗面積算出	当座比率・流動比率・借入回転期間・固定長期適合率・自己資本比率・損益分岐点比率・1企業(店舗)当たり店舗面積算出	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	確認テスト解説	確認テスト解説	
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返りと次回の講義の予告	気づきレポート提出	今日のまとめ	

コマシラバス

科目名	経営指標の読み方	時間	60分
科目目標	経営指標を使って、経営改善ポイントがわかる。		
コマ目標	安全性その他指標を算出できる		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習	
展開 情報提示 (5) 分 学習活動 (30) 分	新しい知識や 事項の提示	テキストP11～	安全性その他指標演習	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学んだ事項の練習	安全性その他指標演習	安全性その他指標演習	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	演習解答解説	演習解答解説	
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	今日のまとめ	

コマシラバス

科目名	経営指標の読み方	時間	60分
科目目標	経営指標を使って、経営改善ポイントがわかる。		
コマ目標	経営指標総合演習		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			
	前提条件の確認 (復習)		これまでの復習	
展開 (5) 分	情報提示 新しい知識や 事項の提示			
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)	経営指標総合演習①	経営指標総合演習①	
	学習活動 学んだ事項の練習	経営指標総合演習①	経営指標総合演習①	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	演習解答解説	演習解答解説	
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	今日のまとめ	

コマシラバス

科目名	経営指標の読み方	時間	60分
科目目標	経営指標を使って、経営改善ポイントがわかる。		
コマ目標	経営指標総合演習		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			
	前提条件の確認 (復習)		これまでの復習	
展開 (5) 分	情報提示 新しい知識や 事項の提示			
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)	経営指標総合演習②	経営指標総合演習②	
	学習活動 学んだ事項の練習	経営指標総合演習②	経営指標総合演習②	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	演習解答解説	演習解答解説	
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	今日のまとめ	

コマシラバス

科目名	経営指標の読み方	時間	60分
科目目標	経営指標を使って、経営改善ポイントがわかる。		
コマ目標	小企業経営指標を使った業種分析		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			
	前提条件の確認 (復習)		これまでの復習	
展開 (5) 分	情報提示 新しい知識や 事項の提示	小企業経営指標を使った業種分析①	小企業経営指標を使った業種分析①	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学習活動 学んだ事項の練習	小企業経営指標を使った業種分析演習①	小企業経営指標を使った業種分析演習①	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	演習解答解説	演習解答解説	
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返りと次回の講義の予告	気づきレポート提出	今日のまとめ	

コマシラバス

科目名	経営指標の読み方	時間	60分
科目目標	経営指標を使って、経営改善ポイントがわかる。		
コマ目標	小企業経営指標を使った業種分析		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点	
導入 (5) 分	注意喚起				
	学習目標の提示				
	前提条件の確認 (復習)		これまでの復習		
展開 分	情報提示 (5) 分	新しい知識や 事項の提示	小企業経営指標を使った業種分析②	小企業経営指標を使った業種分析②	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)				
	学習活動 (30) 分	学んだ事項の練習	小企業経営指標を使った業種分析演習②	小企業経営指標を使った業種分析演習②	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	演習解答解説	演習解答解説		
まとめ (10) 分	評価				
	学習内容の振り返りと次回の講義の予告	気づきレポート提出	今日のまとめ		

コマシラバス

科目名	経営指標の読み方	時間	60分
科目目標	経営指標を使って、経営改善ポイントがわかる。		
コマ目標	企業決算事例から経営指標を算出し、小企業経営指標と照らし経営改善ポイントがわかる		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点	
導入 (5) 分	注意喚起				
	学習目標の提示				
	前提条件の確認 (復習)		これまでの復習		
展開 (5) 分	情報提示 新しい知識や 事項の提示	経営分析演習①	経営分析演習①		
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)				
	学習 活動 (3 0) 分	学んだ事項の練習	経営分析演習①	経営分析演習①	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	演習解答解説	演習解答解説		
まとめ (1 0) 分	評価				
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	今日のまとめ		

コマシラバス

科目名	経営指標の読み方	時間	60分
科目目標	経営指標を使って、経営改善ポイントがわかる。		
コマ目標	企業決算事例から経営指標を算出し、小企業経営指標と照らし経営改善ポイントがわかる		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点	
導入 (5) 分	注意喚起				
	学習目標の提示				
	前提条件の確認 (復習)		これまでの復習		
展開 (5) 分	情報提示 新しい知識や 事項の提示	経営分析演習②	経営分析演習②		
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)				
	学習 活動 (3 0) 分	学んだ事項の練習	経営分析演習②	経営分析演習②	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	演習解答解説	演習解答解説		
まとめ (1 0) 分	評価				
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	今日のまとめ		

コマシラバス

科目名	経営指標の読み方	時間	60分
科目目標	経営指標を使って、経営改善ポイントがわかる。		
コマ目標	上場企業有価証券報告書から経営指標を算出し、他の上場企業との経営比較		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			
	前提条件の確認 (復習)		これまでの復習	
展開 (5) 分	情報提示 新しい知識や 事項の提示	有価証券報告書からの経営分析演習 ①	有価証券報告書からの経営分析演習 ①	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学習活動 学んだ事項の練習	有価証券報告書からの経営分析演習 ①	有価証券報告書からの経営分析演習 ①	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	演習解答解説	演習解答解説	
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	今日のまとめ	

コマシラバス

科目名	経営指標の読み方	時間	60分
科目目標	経営指標を使って、経営改善ポイントがわかる。		
コマ目標	上場企業有価証券報告書から経営指標を算出し、他の上場企業との経営比較		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			
	前提条件の確認 (復習)		これまでの復習	
展開 (5) 分	情報提示 新しい知識や 事項の提示	有価証券報告書からの経営分析演習 ②	有価証券報告書からの経営分析演習 ②	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学習活動 学んだ事項の練習	有価証券報告書からの経営分析演習 ②	有価証券報告書からの経営分析演習 ②	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	演習解答解説	演習解答解説	
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	今日のまとめ	

コマシラバス

科目名	スタッフの行動を変える心理学	時間	60分
科目目標	行動心理学を学び、部下の育成や職場のコミュニケーションに生かす		
コマ目標			
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示		行動心理学の重要性	授業態度
	前提条件の確認 (復習)			
展開 (情報提示) 分	新しい知識や 事項の提示	テキストP1~3	心理的概論	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学習活動 (学んだ事項の練習) 分	確認テスト	確認テスト	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	確認テスト解説	確認テスト解説	
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ	

コマシラバス

科目名	スタッフの行動を変える心理学	時間	60分
科目目標	行動心理学を学び、部下の育成や職場のコミュニケーションに生かす		
コマ目標	行動心理学の基礎		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点	
導入 (5) 分	注意喚起				
	学習目標の提示			授業態度	
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習		
展開	情報提示 ()分	新しい知識や 事項の提示	テキストP4~6	行動心理学の基礎	
		学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学習活動 ()分	学んだ事項の練習	確認テスト	確認テスト	課題取り組み
		練習に対する フィードバック	確認テスト解説	確認テスト解説	
まとめ (10) 分	評価				
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ		

コマシラバス

科目名	スタッフの行動を変える心理学	時間	60分
科目目標	行動心理学を学び、部下の育成や職場のコミュニケーションに生かす		
コマ目標	目的行動への強化方法		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			授業態度
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習	
展開 (情報提示) 分	新しい知識や 事項の提示	テキストP7~10	目的行動への強化方法等	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学習活動 (学んだ事項の練習) 分	確認テスト	確認テスト	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	確認テスト解説	確認テスト解説	
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ	

コマシラバス

科目名	スタッフの行動を変える心理学	時間	60分
科目目標	行動心理学を学び、部下の育成や職場のコミュニケーションに生かす		
コマ目標	行動刺激と強化計画立案		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点	
導入 (5) 分	注意喚起				
	学習目標の提示			授業態度	
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習		
展開	情報提示 () 分	新しい知識や 事項の提示			
		学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学習活動 () 分	学んだ事項の練習	行動刺激と強化計画立案実習	行動刺激と強化計画立案・新しい行動 刺激とシェイピング法やチェイニング法	課題取り組み
		練習に対する フィードバック			
まとめ (10) 分	評価				
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ		

コマシラバス

科目名	スタッフの行動を変える心理学	時間	60分
科目目標	行動心理学を学び、部下の育成や職場のコミュニケーションに生かす		
コマ目標	動機付け理論		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点	
導入 (5) 分	注意喚起				
	学習目標の提示		動機付け理論の大切さ	授業態度	
	前提条件の確認 (復習)				
展開	情報提示 () 分	新しい知識や 事項の提示	テキストP11～13	動機付け理論	
		学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学習活動 () 分	学んだ事項の練習	確認テスト	確認テスト	課題取り組み
		練習に対する フィードバック	確認テスト解説	確認テスト解説	
まとめ (10) 分	評価				
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ		

コマシラバス

科目名	スタッフの行動を変える心理学	時間	60分
科目目標	行動心理学を学び、部下の育成や職場のコミュニケーションに生かす		
コマ目標	動機付け実習		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点	
導入 (5) 分	注意喚起				
	学習目標の提示		動機付け理論の大切さ	授業態度	
	前提条件の確認 (復習)				
展開	情報提示 () 分	新しい知識や 事項の提示			
		学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学習活動 () 分	学んだ事項の練習	動機付け実習	動機付け実習	課題取り組み
		練習に対する フィードバック			
まとめ (10) 分	評価				
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ		

コマシラバス

科目名	職場のコミュニケーション	時間	60分
科目目標	部下指導の際などで、積極的傾聴、ティーチング、コーチングを使い分け活用できる		
コマ目標	積極的傾聴の知識		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示		職場のコミュニケーションの意義	授業態度
	前提条件の確認 (復習)			
展開 (5) 分	情報提示 新しい知識や 事項の提示	テキストP1~3	コミュニケーションとは、積極的傾聴とは	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学習 活動 学んだ事項の練習	確認テストと積極的傾聴の練習	確認テストと積極的傾聴の練習	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	確認テスト解説	確認テスト解説	
まとめ (10) 分	評価			課題取り組み
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ	

コマシラバス

科目名	職場のコミュニケーション	時間	60分
科目目標	部下指導の際などで、積極的傾聴、ティーチング、コーチングを使い分け活用できる		
コマ目標	積極的傾聴実習		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習	
展開 (5) 分	情報提示 新しい知識や 事項の提示			
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)	積極的傾聴の練習	積極的傾聴の練習	
	学習活動 学んだ事項の練習	積極的傾聴の練習	積極的傾聴の練習	課題取り組み
	練習に対する フィードバック			
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	今日のまとめ	

コマシラバス

科目名	職場のコミュニケーション	時間	60分
科目目標	部下指導の際などで、ティーチング、ティーチング、コーチングを使い分け活用できる		
コマ目標	ティーチングの知識		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習	
展開 情報提示 (5) 分 学習活動 (30) 分	新しい知識や 事項の提示	テキストP4~6	ティーチングとは	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学んだ事項の練習	確認テストとティーチングの練習	確認テストとティーチングの練習	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	確認テスト解説	確認テスト解説	
まとめ (10) 分	評価			課題取り組み
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ	

コマシラバス

科目名	職場のコミュニケーション	時間	60分
科目目標	部下指導の際などで、ティーチング、ティーチング、コーチングを使い分け活用できる		
コマ目標	ティーチングの実習		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習	
展開 情報提示 (5) 分 学習活動 (30) 分	新しい知識や 事項の提示			
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学んだ事項の練習	ティーチングの練習	ティーチングの練習	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	ティーチングの練習	ティーチングの練習	
まとめ (10) 分	評価			課題取り組み
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ	

コマシラバス

科目名	職場のコミュニケーション	時間	60分
科目目標	部下指導の際などで、ティーチング、ティーチング、コーチングを使い分け活用できる		
コマ目標	ティーチングの知識		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点	
導入 (5) 分	注意喚起				
	学習目標の提示				
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習		
展開)	情報提示 (5) 分	新しい知識や 事項の提示	テキストP7~9	ティーチングとは	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)				
	学習 活動 (3 0) 分	学んだ事項の練習	確認テストとティーチングの練習	確認テストとティーチングの練習	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	確認テスト解説	確認テスト解説		
まとめ (1 0) 分	評価			課題取り組み	
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ		

コマシラバス

科目名	職場のコミュニケーション	時間	60分
科目目標	部下指導の際などで、コーチング、コーチング、コーチングを使い分け活用できる		
コマ目標	コーチングの実習		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習	
展開 情報提示 (5) 分 学習活動 (30) 分	新しい知識や 事項の提示			
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学んだ事項の練習	コーチングの練習	コーチングの練習	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	コーチングの練習	コーチングの練習	
まとめ (10) 分	評価			課題取り組み
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ	

コマシラバス

科目名	職場のコミュニケーション	時間	60分
科目目標	部下指導の際などで、コーチング、コーチング、コーチングを使い分け活用できる		
コマ目標	コーチングの実習		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習	
展開 情報提示 (5) 分 学習活動 (30) 分	新しい知識や 事項の提示			
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学んだ事項の練習	コーチングの練習	コーチングの練習	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	コーチングの練習	コーチングの練習	
まとめ (10) 分	評価			課題取り組み
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ	

コマシラバス

科目名	リーダーシップを發揮しよう	時間	60分
科目目標	状況に応じた適切なリーダーシップのあり方を要求したり、發揮したりできる。		
コマ目標	リーダーシップの知識		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点	
導入 (5) 分	注意喚起				
	学習目標の提示		リーダーシップを学ぶ意義	授業態度	
	前提条件の確認 (復習)				
展開)	情報提示 (5) 分	新しい知識や 事項の提示	テキストP1~4	リーダーシップ概論	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)				
	学習活動 (30) 分	学んだ事項の練習	確認テスト	確認テスト	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	確認テスト解説	確認テスト解説		
まとめ (10) 分	評価				
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ		

コマシラバス

科目名	リーダーシップを發揮しよう	時間	60分
科目目標	状況に応じた適切なリーダーシップのあり方を要求したり、發揮したりできる。		
コマ目標	リーダーシップの知識		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示		リーダーシップを学ぶ意義	授業態度
	前提条件の確認 (復習)			
展開 (5) 分	情報提示 新しい知識や 事項の提示	テキストP5~8	リーダーシップ概論	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学習活動 学んだ事項の練習	確認テスト	確認テスト	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	確認テスト解説	確認テスト解説	
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ	

コマシラバス

科目名	リーダーシップを発揮しよう	時間	60分
科目目標	状況に応じた適切なリーダーシップのあり方を要求したり、発揮したりできる。		
コマ目標	リーダーシップ実習(基本)		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			授業態度
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習	
展開 (5) 分	情報提示 新しい知識や 事項の提示			
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)	リーダーシップ実習	リーダーシップ実習	
	学習 活動 学んだ事項の練習	リーダーシップ実習	リーダーシップ実習	課題取り組み
	練習に対する フィードバック			
まとめ (1 0) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ	

コマシラバス

科目名	リーダーシップを発揮しよう	時間	60分
科目目標	状況に応じた適切なリーダーシップのあり方を要求したり、発揮したりできる。		
コマ目標	リーダーシップ実習(中度)		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			授業態度
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習	
展開 (5) 分	情報提示 新しい知識や 事項の提示			
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)	リーダーシップ実習	リーダーシップ実習	
	学習 活動 学んだ事項の練習	リーダーシップ実習	リーダーシップ実習	課題取り組み
	練習に対する フィードバック			
まとめ (1 0) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ	

コマシラバス

科目名	リーダーシップを発揮しよう	時間	60分
科目目標	状況に応じた適切なリーダーシップのあり方を要求したり、発揮したりできる。		
コマ目標	リーダーシップ実習(議論のリーダーシップ)		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			授業態度
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習	
展開 (5) 分	情報提示 新しい知識や 事項の提示			
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)	リーダーシップ実習	リーダーシップ実習	
	学習 活動 学んだ事項の練習	リーダーシップ実習	リーダーシップ実習	課題取り組み
	練習に対する フィードバック			
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ	

コマシラバス

科目名	リーダーシップを発揮しよう	時間	60分
科目目標	状況に応じた適切なリーダーシップのあり方を要求したり、発揮したりできる。		
コマ目標	リーダーシップ実習(議論のリーダーシップ)		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			授業態度
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習	
展開 (5) 分	情報提示 新しい知識や 事項の提示			
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)	リーダーシップ実習	リーダーシップ実習	
	学習 活動 学んだ事項の練習	リーダーシップ実習	リーダーシップ実習	課題取り組み
	練習に対する フィードバック			
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ	

コマシラバス

科目名	セルフメンタルヘルス	時間	60分
科目目標	ストレス耐性をつけるセルフメンタルコントロールが実践できる		
コマ目標	ストレスの基礎知識を知る		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示		セルフメンタルヘルスの重要性	授業態度
	前提条件の確認 (復習)			
展開 情報提示 (5) 分 学習活動 (30) 分	新しい知識や 事項の提示	テキストP1～6	ストレス概論	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学んだ事項の練習	確認テスト	確認テスト	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	確認テスト解説	確認テスト解説	
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ	

コマシラバス

科目名	セルフメンタルヘルス	時間	60分
科目目標	ストレス耐性をつけるセルフメンタルコントロールが実践できる		
コマ目標	職場のストレスの基礎知識を知る		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示		セルフメンタルヘルスの重要性	授業態度
	前提条件の確認 (復習)			
展開 情報提示 (5) 分 学習活動 (30) 分	新しい知識や 事項の提示	テキストP7～17	職場のストレスとストレス反応	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学んだ事項の練習	確認テスト	確認テスト	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	確認テスト解説	確認テスト解説	
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ	

コマシラバス

科目名	セルフメンタルヘルス	時間	60分
科目目標	ストレス耐性をつけるセルフメンタルコントロールが実践できる		
コマ目標	ストレス反応とストレスモデル		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点	
導入 (5分)	注意喚起				
	学習目標の提示		セルフメンタルヘルスの重要性	授業態度	
	前提条件の確認 (復習)				
展開	情報提示 (5分)	新しい知識や 事項の提示	テキストP18~25	ストレス反応とストレスモデル	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)				
	学習活動 (30分)	学んだ事項の練習	確認テスト	確認テスト	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	確認テスト解説	確認テスト解説		
まとめ (10分)	評価				
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ		

コマシラバス

科目名	セルフメンタルヘルス	時間	60分
科目目標	ストレス耐性をつけるセルフメンタルコントロールが実践できる		
コマ目標	ストレスとストレスチェック		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示		セルフメンタルヘルスの重要性	授業態度
	前提条件の確認 (復習)			
展開 (5) 分	情報提示 新しい知識や 事項の提示	テキストP26～29	ストレスとストレスチェック	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学習活動 学んだ事項の練習	確認テスト	確認テスト	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	確認テスト解説	確認テスト解説	
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ	

コマシラバス

科目名	セルフメンタルヘルス	時間	60分
科目目標	ストレス耐性をつけるセルフメンタルコントロールが実践できる		
コマ目標	ストレスコーピング		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点	
導入 (5) 分	注意喚起				
	学習目標の提示		セルフメンタルヘルスの重要性	授業態度	
	前提条件の確認 (復習)				
展開 (5) 分	情報提示 新しい知識や 事項の提示	テキストP30～33	ストレスコーピング		
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)				
	学習 活動 (3 0) 分	学んだ事項の練習	リラクゼーション技法実習	リラクゼーション技法実習	課題取り組み
	練習に対する フィードバック				
まとめ (1 0) 分	評価				
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ		

コマシラバス

科目名	セルフメンタルヘルス	時間	60分
科目目標	ストレス耐性をつけるセルフメンタルコントロールが実践できる		
コマ目標	ストレスコーピング		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			
	前提条件の確認 (復習)			
展開 情報提示 (5) 分 学習活動 (30) 分	新しい知識や 事項の提示	テキストP34～	認知療法モデル、ソーシャルサポート、 セルフトーク、コーピングリスト	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学んだ事項の練習	セルフトーク、コーピングリスト実習	セルフトーク、コーピングリスト実習	課題取り組み
	練習に対する フィードバック			
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ	

コマシラバス

科目名	ラインメンタルヘルス	時間	60分
科目目標	部下をストレスから守るラインメンタルコントロールが実践できる		
コマ目標	業務によるストレス負荷		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示		ラインメンタルヘルスの重要性	授業態度
	前提条件の確認 (復習)			
展開 分	情報提示 新しい知識や 事項の提示	テキストP1~5	心理的負荷	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学習活動 学んだ事項の練習	確認テスト	確認テスト	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	確認テスト解説	確認テスト解説	
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ	

コマシラバス

科目名	ラインメンタルヘルス	時間	60分
科目目標	部下をストレスから守るラインメンタルコントロールが実践できる		
コマ目標	ストレス早期発見		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習	
展開 情報 提示 (5) 分 学習 活動 (30) 分	新しい知識や 事項の提示	テキストP6～11	ストレスの早期発見と対応	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学んだ事項の練習	確認テスト	確認テスト	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	確認テスト解説	確認テスト解説	
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ	

コマシラバス

科目名	ラインメンタルヘルス	時間	60分
科目目標	部下をストレスから守るラインメンタルコントロールが実践できる		
コマ目標	ストレスの原因となる職場環境と改善方法を知る		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習	
展開 情報提示 (5) 分 学習活動 (30) 分	新しい知識や 事項の提示	テキストP12～15	ストレスの原因となる職場環境・ストレス モデル・職場改善方法	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学んだ事項の練習	確認テスト	確認テスト	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	確認テスト解説	確認テスト解説	
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ	

コマシラバス

科目名	ラインメンタルヘルス	時間	60分
科目目標	部下をストレスから守るラインメンタルコントロールが実践できる		
コマ目標	社内外資源との連携とストレステスト		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習	
展開 情報提示 (5) 分 学習活動 (30) 分	新しい知識や 事項の提示	テキストP16~18	社内外資源との連携	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学んだ事項の練習	ストレステスト実習	ストレステスト実習	課題取り組み
	練習に対する フィードバック			
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ	

コマシラバス

科目名	ラインメンタルヘルス	時間	60分
科目目標	部下をストレスから守るラインメンタルコントロールが実践できる		
コマ目標	職場改善案の立案実習		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習	
展開 分	情報提示 新しい知識や 事項の提示			
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)	ストレステスト結果をもとに職場の環境 改善案を立てる	ストレステスト結果をもとに職場の環境 改善案を立てる	
	学習活動 学んだ事項の練習	ストレステスト結果をもとに職場の環境 改善案を立てる	ストレステスト結果をもとに職場の環境 改善案を立てる	課題取り組み
	練習に対する フィードバック			
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ	

コマシラバス

科目名	ラインメンタルヘルス	時間	60分
科目目標	部下をストレスから守るラインメンタルコントロールが実践できる		
コマ目標	職場改善案の立案実習		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習	
展開 30) 分	情報提示 (5) 分	新しい知識や 事項の提示		
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)	ストレステスト結果をもとに職場の環境 改善案を立てる	ストレステスト結果をもとに職場の環境 改善案を立てる	
	学習活動 (30) 分	学んだ事項の練習	ストレステスト結果をもとに職場の環境 改善案を立てる	課題取り組み
	練習に対する フィードバック			
まとめ (10) 分	評価	発表評価	発表評価	
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ	

コマシラバス

科目名	最新観光動向	時間	60分
科目目標	最新観光動向を知り、1年後の需要に応える企画を立てる。		
コマ目標	訪日旅行市場を知る		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示		訪日旅行市場を知る意義	授業態度
	前提条件の確認 (復習)			
展開 学習活動 (30) 分	情報提示 (5) 分 新しい知識や 事項の提示	テキストP3~10	訪日旅行市場	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学んだ事項の練習	訪日旅行市場の確認テスト	訪日旅行市場の確認テスト	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	確認テスト解説	確認テスト解説	
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	本日のまとめ	

コマシラバス

科目名	最新観光動向	時間	60分
科目目標	最新観光動向を知り、1年後の需要に応える企画を立てる。		
コマ目標	中国人旅行者動向を知る		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示	テキストP3~11	中国人旅行者動向を知る	授業態度
	前提条件の確認 (復習)			
展開 (5) 分	情報提示 新しい知識や 事項の提示	中国人旅行者動向を知る	中国人旅行者動向を知る	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学習活動 学んだ事項の練習	確認テスト	確認テスト	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	確認テスト解説	確認テスト解説	
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	本日のまとめ	

コマシラバス

科目名	最新観光動向	時間	60分
科目目標	最新観光動向を知り、1年後の需要に応える企画を立てる。		
コマ目標	中国人旅行者対策レポートグループ作成		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5分)	注意喚起			
	学習目標の提示		中国人旅行者対策をグループでまとめる	授業態度
	前提条件の確認(復習)			
展開	情報提示(5分)	新しい知識や事項の提示		
	学習方法の提示(理解を促進する手法)		土産物店・飲食店・ホテル旅館・その他の4ワーキンググループに分かれ、中国人旅行者対策をグループでまとめて発表	
	学習活動(30分)	学んだ事項の練習	土産物店・飲食店・ホテル旅館・その他の4ワーキンググループに分かれ、中国人旅行者対策をグループでまとめて発表	課題取り組み
	練習に対するフィードバック			
まとめ (10分)	評価	グループ発表	グループ発表	
	学習内容の振り返りと次回の講義の予告	気づきレポート提出	本日のまとめ	

コマシラバス

科目名	最新観光動向	時間	60分
科目目標	最新観光動向を知り、1年後の需要に応える企画を立てる。		
コマ目標	韓国人旅行者動向を知る		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示	テキストP14～26	韓国人旅行者動向を知る	授業態度
	前提条件の確認 (復習)			
展開 情報提示 (5) 分 学習活動 (30) 分	新しい知識や 事項の提示	韓国人旅行者動向を知る	韓国人旅行者動向を知る	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学んだ事項の練習	確認テスト	確認テスト	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	確認テスト解説	確認テスト解説	
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	本日のまとめ	

コマシラバス

科目名	最新観光動向	時間	60分
科目目標	最新観光動向を知り、1年後の需要に応える企画を立てる。		
コマ目標	韓国人旅行者対策レポートグループ作成		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示		韓国人旅行者対策をグループでまとめる	授業態度
	前提条件の確認 (復習)			
展開 分	情報提示 (5) 分	新しい知識や 事項の提示		
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)		土産物店・飲食店・ホテル旅館・その他の4ワーキンググループに分かれ、韓国人旅行者対策をグループでまとめて発表	
	学習活動 (30) 分	学んだ事項の練習	土産物店・飲食店・ホテル旅館・その他の4ワーキンググループに分かれ、韓国人旅行者対策をグループでまとめて発表	課題取り組み
	練習に対する フィードバック			
まとめ (10) 分	評価	グループ発表	グループ発表	
	学習内容の振り返りと次回の講義の予告	気づきレポート提出	本日のまとめ	

コマシラバス

科目名	最新観光動向	時間	60分
科目目標	最新観光動向を知り、1年後の需要に応える企画を立てる。		
コマ目標	台湾人旅行者動向を知る		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示	テキストP27～33	台湾人旅行者動向を知る	授業態度
	前提条件の確認 (復習)			
展開 情報提示 (5) 分 学習活動 (30) 分	新しい知識や 事項の提示	台湾人旅行者動向を知る	台湾人旅行者動向を知る	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学んだ事項の練習	確認テスト	確認テスト	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	確認テスト解説	確認テスト解説	
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	本日のまとめ	

コマシラバス

科目名	最新観光動向	時間	60分
科目目標	最新観光動向を知り、1年後の需要に応える企画を立てる。		
コマ目標	台湾人旅行者対策レポートグループ作成		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示		台湾人旅行者対策をグループでまとめる	授業態度
	前提条件の確認 (復習)			
展開 分	情報提示 (5) 分	新しい知識や 事項の提示		
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)		土産物店・飲食店・ホテル旅館・その他の4ワーキンググループに分かれ、台湾人旅行者対策をグループでまとめて発表	
	学習活動 (30) 分	学んだ事項の練習	土産物店・飲食店・ホテル旅館・その他の4ワーキンググループに分かれ、台湾人旅行者対策をグループでまとめて発表	課題取り組み
	練習に対する フィードバック			
まとめ (10) 分	評価	グループ発表	グループ発表	
	学習内容の振り返りと次回の講義の予告	気づきレポート提出	本日のまとめ	

コマシラバス

科目名	最新観光動向	時間	60分
科目目標	最新観光動向を知り、1年後の需要に応える企画を立てる。		
コマ目標	香港人旅行者動向を知る		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点	
導入 (5) 分	注意喚起				
	学習目標の提示	テキストP34～39	香港人旅行者動向を知る	授業態度	
	前提条件の確認 (復習)				
展開 分	情報提示 (5) 分	新しい知識や 事項の提示	香港人旅行者動向を知る	香港人旅行者動向を知る	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)				
	学習活動 (30) 分	学んだ事項の練習	確認テスト	確認テスト	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	確認テスト解説	確認テスト解説		
まとめ (10) 分	評価				
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	本日のまとめ		

コマシラバス

科目名	最新観光動向	時間	60分
科目目標	最新観光動向を知り、1年後の需要に応える企画を立てる。		
コマ目標	香港人旅行者対策レポートグループ作成		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示		香港人旅行者対策をグループでまとめる	授業態度
	前提条件の確認 (復習)			
展開)	情報提示 (5) 分	新しい知識や 事項の提示		
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)		土産物店・飲食店・ホテル旅館・その他の4ワーキンググループに分かれ、香港人旅行者対策をグループでまとめて発表	
	学習活動 (30) 分	学んだ事項の練習	土産物店・飲食店・ホテル旅館・その他の4ワーキンググループに分かれ、香港人旅行者対策をグループでまとめて発表	課題取り組み
	練習に対する フィードバック			
まとめ (10) 分	評価	グループ発表	グループ発表	
	学習内容の振り返りと次回の講義の予告	気づきレポート提出	本日のまとめ	

コマシラバス

科目名	最新観光動向	時間	60分
科目目標	最新観光動向を知り、1年後の需要に応える企画を立てる。		
コマ目標	タイ人旅行者動向を知る		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示	テキストP40～45	タイ人旅行者動向を知る	授業態度
	前提条件の確認 (復習)			
展開 情報提示 (5) 分 学習活動 (30) 分	新しい知識や 事項の提示	タイ人旅行者動向を知る	タイ人旅行者動向を知る	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学んだ事項の練習	確認テスト	確認テスト	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	確認テスト解説	確認テスト解説	
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	本日のまとめ	

コマシラバス

科目名	最新観光動向	時間	60分
科目目標	最新観光動向を知り、1年後の需要に応える企画を立てる。		
コマ目標	タイ人旅行者対策レポートグループ作成		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示		タイ人旅行者対策をグループでまとめる	授業態度
	前提条件の確認 (復習)			
展開)	情報提示 (5) 分	新しい知識や 事項の提示		
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)		土産物店・飲食店・ホテル旅館・その他 の4ワーキンググループに分かれ、タイ 人旅行者対策をグループでまとめて発 表	
	学習活動 (3 0) 分	学んだ事項の練習	土産物店・飲食店・ホテル旅館・その他 の4ワーキンググループに分かれ、タイ 人旅行者対策をグループでまとめて発 表	課題取り組み
	練習に対する フィードバック			
まとめ (1 0) 分	評価	グループ発表	グループ発表	
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	本日のまとめ	

コマシラバス

科目名	インバウンドマーケティング	時間	60分
科目目標	誰に、何を、どうやって売るかというインバウンドマーケティング計画を立てる		
コマ目標	韓国人旅行者のインバウンド状況		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点	
導入 (5) 分	注意喚起				
	学習目標の提示		インバウンドマーケティングの重要性	授業態度	
	前提条件の確認 (復習)				
展開	情報提示 () 分	新しい知識や 事項の提示	韓国のインバウンド状況	韓国のインバウンド状況	
		学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学習活動 () 分	学んだ事項の練習	確認テスト	確認テスト	課題取り組み
		練習に対する フィードバック	確認テスト解説	確認テスト解説	
まとめ (10) 分	評価				
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ		

コマシラバス

科目名	インバウンドマーケティング	時間	60分
科目目標	誰に、何を、どうやって売るかというインバウンドマーケティング計画を立てる		
コマ目標	韓国人旅行者のインバウンドマーケティング企画		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習	
展開 (情報提示) 分	新しい知識や 事項の提示			
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学んだ事項の練習	韓国人旅行者のインバウンドマーケ ティング企画	韓国人旅行者のインバウンドマーケティ ング企画	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	発表		
まとめ (10) 分	評価		発表	
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ	

コマシラバス

科目名	インバウンドマーケティング	時間	60分
科目目標	誰に、何を、どうやって売るかというインバウンドマーケティング計画を立てる		
コマ目標	台湾人旅行者のインバウンド状況		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点	
導入 (5) 分	注意喚起				
	学習目標の提示		インバウンドマーケティングの重要性	授業態度	
	前提条件の確認 (復習)				
展開	情報提示 ()分	新しい知識や 事項の提示	台湾のインバウンド状況	台湾のインバウンド状況	
		学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学習活動 ()分	学んだ事項の練習	確認テスト	確認テスト	課題取り組み
		練習に対する フィードバック	確認テスト解説	確認テスト解説	
まとめ (10) 分	評価				
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ		

コマシラバス

科目名	インバウンドマーケティング	時間	60分
科目目標	誰に、何を、どうやって売るかというインバウンドマーケティング計画を立てる		
コマ目標	台湾人旅行者のインバウンドマーケティング企画		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点	
導入 (5) 分	注意喚起				
	学習目標の提示				
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習		
展開 (10) 分	情報提示 (1) 分	新しい知識や 事項の提示			
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)				
	学習活動 (1) 分	学んだ事項の練習	台湾人旅行者のインバウンドマーケ ティング企画	台湾人旅行者のインバウンドマーケティ ング企画	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	発表			
まとめ (10) 分	評価		発表		
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ		

コマシラバス

科目名	インバウンドマーケティング	時間	60分
科目目標	誰に、何を、どうやって売るかというインバウンドマーケティング計画を立てる		
コマ目標	香港人旅行者のインバウンド状況		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点	
導入 (5) 分	注意喚起				
	学習目標の提示		インバウンドマーケティングの重要性	授業態度	
	前提条件の確認 (復習)				
展開	情報提示 () 分	新しい知識や 事項の提示	香港のインバウンド状況	香港のインバウンド状況	
		学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学習活動 () 分	学んだ事項の練習	確認テスト	確認テスト	課題取り組み
		練習に対する フィードバック	確認テスト解説	確認テスト解説	
まとめ (10) 分	評価				
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ		

コマシラバス

科目名	インバウンドマーケティング	時間	60分
科目目標	誰に、何を、どうやって売るかというインバウンドマーケティング計画を立てる		
コマ目標	香港人旅行者のインバウンドマーケティング企画		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点	
導入 (5) 分	注意喚起				
	学習目標の提示				
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習		
展開 (10) 分	情報提示 (1) 分	新しい知識や 事項の提示			
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)				
	学習活動 (1) 分	学んだ事項の練習	香港人旅行者のインバウンドマーケ ティング企画	香港人旅行者のインバウンドマーケティ ング企画	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	発表			
まとめ (10) 分	評価		発表		
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ		

コマシラバス

科目名	インバウンドマーケティング	時間	60分
科目目標	誰に、何を、どうやって売るかというインバウンドマーケティング計画を立てる		
コマ目標	フィリピン人旅行者のインバウンド状況		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示		インバウンドマーケティングの重要性	授業態度
	前提条件の確認 (復習)			
展開 (情報提示) 分	新しい知識や 事項の提示	フィリピンのインバウンド状況	フィリピンのインバウンド状況	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学習活動 (学んだ事項の練習) 分	確認テスト	確認テスト	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	確認テスト解説	確認テスト解説	
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ	

コマシラバス

科目名	インバウンドマーケティング	時間	60分
科目目標	誰に、何を、どうやって売るかというインバウンドマーケティング計画を立てる		
コマ目標	フィリピン人旅行者のインバウンドマーケティング企画		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習	
展開 (情報提示) 分	新しい知識や 事項の提示			
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学んだ事項の練習	フィリピン人旅行者のインバウンドマーケティング企画	フィリピン人旅行者のインバウンドマーケティング企画	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	発表		
まとめ (10) 分	評価		発表	
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ	

コマシラバス

科目名	インバウンドマーケティング	時間	60分
科目目標	誰に、何を、どうやって売るかというインバウンドマーケティング計画を立てる		
コマ目標	タイ人旅行者のインバウンド状況		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点	
導入 (5) 分	注意喚起				
	学習目標の提示		インバウンドマーケティングの重要性	授業態度	
	前提条件の確認 (復習)				
展開	情報提示 () 分	新しい知識や 事項の提示	タイのインバウンド状況	タイのインバウンド状況	
		学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学習活動 () 分	学んだ事項の練習	確認テスト	確認テスト	課題取り組み
		練習に対する フィードバック	確認テスト解説	確認テスト解説	
まとめ (10) 分	評価				
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ		

コマシラバス

科目名	インバウンドマーケティング	時間	60分
科目目標	誰に、何を、どうやって売るかというインバウンドマーケティング計画を立てる		
コマ目標	タイ人旅行者のインバウンドマーケティング企画		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習	
展開 (情報提示) 分	新しい知識や 事項の提示			
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学んだ事項の練習	タイ人旅行者のインバウンドマーケティング企画	タイ人旅行者のインバウンドマーケティング企画	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	発表		
まとめ (10) 分	評価		発表	
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ	

コマシラバス

科目名	インバウンドマーケティング	時間	60分
科目目標	誰に、何を、どうやって売るかというインバウンドマーケティング計画を立てる		
コマ目標	マレーシア・シンガポール人旅行者のインバウンド状況		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示		インバウンドマーケティングの重要性	授業態度
	前提条件の確認 (復習)			
展開 (情報提示) 分	新しい知識や 事項の提示	マレーシア・シンガポールのインバウンド状況	マレーシア・シンガポールのインバウンド状況	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学習活動 (学んだ事項の練習) 分	確認テスト	確認テスト	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	確認テスト解説	確認テスト解説	
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ	

コマシラバス

科目名	インバウンドマーケティング	時間	60分
科目目標	誰に、何を、どうやって売るかというインバウンドマーケティング計画を立てる		
コマ目標	マレーシア・シンガポール人旅行者のインバウンドマーケティング企画		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点	
導入 (5分)	注意喚起				
	学習目標の提示				
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習		
展開	情報提示 (1分)	新しい知識や 事項の提示			
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)				
	学習活動 (1分)	学んだ事項の練習	マレーシア・シンガポール人旅行者の インバウンドマーケティング企画	マレーシア・シンガポール人旅行者のイ ンバウンドマーケティング企画	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	発表			
まとめ (10分)	評価		発表		
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ		

コマシラバス

科目名	インバウンドマーケティング	時間	60分
科目目標	誰に、何を、どうやって売るかというインバウンドマーケティング計画を立てる		
コマ目標	インドネシア人旅行者のインバウンド状況		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点	
導入 (5) 分	注意喚起				
	学習目標の提示		インバウンドマーケティングの重要性	授業態度	
	前提条件の確認 (復習)				
展開	情報提示 () 分	新しい知識や 事項の提示	インドネシアのインバウンド状況	インドネシアのインバウンド状況	
		学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学習活動 () 分	学んだ事項の練習	確認テスト	確認テスト	課題取り組み
		練習に対する フィードバック	確認テスト解説	確認テスト解説	
まとめ (10) 分	評価				
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ		

コマシラバス

科目名	インバウンドマーケティング	時間	60分
科目目標	誰に、何を、どうやって売るかというインバウンドマーケティング計画を立てる		
コマ目標	インドネシア人旅行者のインバウンドマーケティング企画		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点	
導入 (5) 分	注意喚起				
	学習目標の提示				
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習		
展開 (10) 分	情報提示 (1) 分	新しい知識や 事項の提示			
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)				
	学習活動 (1) 分	学んだ事項の練習	インドネシア人旅行者のインバウンド マーケティング企画	インドネシア人旅行者のインバウンド マーケティング企画	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	発表			
まとめ (10) 分	評価		発表		
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ		

コマシラバス

科目名	インバウンドマーケティング	時間	60分
科目目標	誰に、何を、どうやって売るかというインバウンドマーケティング計画を立てる		
コマ目標	アメリカ・カナダ・オーストラリア人旅行者のインバウンド状況		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示		インバウンドマーケティングの重要性	授業態度
	前提条件の確認 (復習)			
展開 (情報提示) 分	新しい知識や 事項の提示	アメリカ・カナダ・オーストラリアのイン バウンド状況	アメリカ・カナダ・オーストラリアのインバ ウンド状況	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学習活動 (学んだ事項の練習) 分	確認テスト	確認テスト	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	確認テスト解説	確認テスト解説	
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ	

コマシラバス

科目名	インバウンドマーケティング	時間	60分
科目目標	誰に、何を、どうやって売るかというインバウンドマーケティング計画を立てる		
コマ目標	アメリカ・カナダ・オーストラリア人旅行者のインバウンドマーケティング企画		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習	
展開 (情報提示) 分	新しい知識や 事項の提示			
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学んだ事項の練習	アメリカ・カナダ・オーストラリア人旅行者のインバウンドマーケティング企画	アメリカ・カナダ・オーストラリア人旅行者のインバウンドマーケティング企画	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	発表		
まとめ (10) 分	評価		発表	
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ	

コマシラバス

科目名	インバウンドマーケティング	時間	60分
科目目標	誰に、何を、どうやって売るかというインバウンドマーケティング計画を立てる		
コマ目標	イギリス・フランス人旅行者のインバウンド状況		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点	
導入 (5) 分	注意喚起				
	学習目標の提示		インバウンドマーケティングの重要性	授業態度	
	前提条件の確認 (復習)				
展開	情報提示 ()分	新しい知識や 事項の提示	イギリス・フランスのインバウンド状況	イギリス・フランスのインバウンド状況	
		学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学習活動 ()分	学んだ事項の練習	確認テスト	確認テスト	課題取り組み
		練習に対する フィードバック	確認テスト解説	確認テスト解説	
まとめ (10) 分	評価				
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ		

コマシラバス

科目名	インバウンドマーケティング	時間	60分
科目目標	誰に、何を、どうやって売るかというインバウンドマーケティング計画を立てる		
コマ目標	イギリス・フランス人旅行者のインバウンドマーケティング企画		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点	
導入 (5) 分	注意喚起				
	学習目標の提示				
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習		
展開 () 分	情報提示 () 分	新しい知識や 事項の提示			
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)				
	学習活動 () 分	学んだ事項の練習	イギリス・フランス人旅行者のインバ ウンドマーケティング企画	イギリス・フランス人旅行者のインバ ウンドマーケティング企画	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	発表			
まとめ (10) 分	評価		発表		
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ		

コマシラバス

科目名	ツーリズム研究	時間	60分
科目目標	地域の特性を生かしたツーリズム企画の立案する		
コマ目標	ツーリズム概論		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点	
導入 (5) 分	注意喚起				
	学習目標の提示		ツーリズム研究の目指すこと	授業態度	
	前提条件の確認 (復習)				
展開 分	情報提示 (3 0) 分	新しい知識や 事項の提示	P1~5	ツーリズム概論	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)				
	学習活動 (2 0) 分	学んだ事項の練習	確認テスト	確認テスト	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	確認テスト解説	確認テスト解説		
まとめ (5) 分	評価				
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ		

コマシラバス

科目名	ツーリズム研究	時間	60分
科目目標	地域の特性を生かしたツーリズム企画の立案する		
コマ目標	エコ・ツーリズム		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点	
導入 (5) 分	注意喚起				
	学習目標の提示				
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習		
展開 分	情報提示 (3 0) 分	新しい知識や 事項の提示	P6~11	エコ・ツーリズムと事例	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)				
	学習活動 (2 0) 分	学んだ事項の練習	グループで地域のエコ・ツーリズム企画 を立てる	グループで地域のエコ・ツーリズム企画 を立てる	課題取り組み
	練習に対する フィードバック				
まとめ (5) 分	評価				
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出		まとめ	

コマシラバス

科目名	ツーリズム研究	時間	60分
科目目標	地域の特性を生かしたツーリズム企画の立案する		
コマ目標	エコ・ツーリズム企画立案		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習	
展開 情報提示 (3 0) 分 学習活動 (2 0) 分	新しい知識や 事項の提示			
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)	グループで地域のエコ・ツーリズム企画 を立てる	グループで地域のエコ・ツーリズム企画 を立てる	
	学んだ事項の練習	発表	発表	課題取り組み
	練習に対する フィードバック			
まとめ (5) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ	

コマシラバス

科目名	ツーリズム研究	時間	60分
科目目標	地域の特性を生かしたツーリズム企画の立案する		
コマ目標	グリーン・ツーリズム		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習	
展開 情報提示 (3 0) 分 学習活動 (2 0) 分	新しい知識や 事項の提示	P12~22	グリーン・ツーリズムと事例	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学んだ事項の練習			課題取り組み
	練習に対する フィードバック			
まとめ (5) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ	

コマシラバス

科目名	ツーリズム研究	時間	60分
科目目標	地域の特性を生かしたツーリズム企画の立案する		
コマ目標	グリーン・ツーリズム企画立案		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習	
展開 情報提示 (3 0) 分 学習活動 (2 0) 分	新しい知識や 事項の提示			
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)	グループで地域のグリーン・ツーリズム 企画を立てる	グループで地域のグリーン・ツーリズム 企画を立てる	
	学んだ事項の練習	発表	発表	課題取り組み
	練習に対する フィードバック			
まとめ (5) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ	

コマシラバス

科目名	ツーリズム研究	時間	60分
科目目標	地域の特性を生かしたツーリズム企画の立案する		
コマ目標	ロケ・ツーリズム		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点	
導入 (5分)	注意喚起				
	学習目標の提示				
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習		
展開	情報提示 (3分)	新しい知識や 事項の提示	P23~27	ロケ・ツーリズムと事例	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)				
	学習活動 (2分)	学んだ事項の練習	グループで地域のロケ・ツーリズム企画を立てる	グループで地域のロケ・ツーリズム企画を立てる	課題取り組み
	練習に対する フィードバック				
まとめ (5分)	評価				
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ		

コマシラバス

科目名	ツーリズム研究	時間	60分
科目目標	地域の特性を生かしたツーリズム企画の立案する		
コマ目標	ロケ・ツーリズム企画立案		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習	
展開 情報提示 (3 0) 分 学習活動 (2 0) 分	新しい知識や 事項の提示			
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)	グループで地域のロケ・ツーリズム企画を立てる	グループで地域のロケ・ツーリズム企画を立てる	
	学んだ事項の練習	発表	発表	課題取り組み
	練習に対する フィードバック			
まとめ (5) 分	評価			
	学習内容の振り返りと次回の講義の予告	気づきレポート提出	まとめ	

コマシラバス

科目名	ツーリズム研究	時間	60分
科目目標	地域の特性を生かしたツーリズム企画の立案する		
コマ目標	アニメ・ツーリズム		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習	
展開 情報提示 (3 0) 分 学習活動 (2 0) 分	新しい知識や 事項の提示	P28~31	アニメ・ツーリズムと事例	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学んだ事項の練習	グループで地域のアニメ・ツーリズム企画を立てる	グループで地域のアニメ・ツーリズム企画を立てる	課題取り組み
	練習に対する フィードバック			
まとめ (5) 分	評価			
	学習内容の振り返りと次回の講義の予告	気づきレポート提出	まとめ	

コマシラバス

科目名	ツーリズム研究	時間	60分
科目目標	地域の特性を生かしたツーリズム企画の立案する		
コマ目標	アニメ・ツーリズム企画立案		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習	
展開 分	情報提示 (3) 分	新しい知識や 事項の提示		
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)	グループで地域のアニメ・ツーリズム企 画を立てる	グループで地域のアニメ・ツーリズム企 画を立てる	
	学習 活動 (2) 分	学んだ事項の練習	発表	課題取り組み
	練習に対する フィードバック			
まとめ (5) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ	

コマシラバス

科目名	ツーリズム研究	時間	60分
科目目標	地域の特性を生かしたツーリズム企画の立案する		
コマ目標	産業観光ツーリズム		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点	
導入 (5) 分	注意喚起				
	学習目標の提示				
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習		
展開 分	情報提示 (3 0) 分	新しい知識や 事項の提示	P32~33	産業観光ツーリズムと事例	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)				
	学習活動 (2 0) 分	学んだ事項の練習	グループで地域の産業観光ツーリズム 企画を立てる	グループで地域の産業観光ツーリズム 企画を立てる	課題取り組み
	練習に対する フィードバック				
まとめ (5) 分	評価				
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出		まとめ	

コマシラバス

科目名	ツーリズム研究	時間	60分
科目目標	地域の特性を生かしたツーリズム企画の立案する		
コマ目標	産業観光ツーリズム企画立案		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習	
展開 分	情報提示 (3) 分	新しい知識や 事項の提示		
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)	グループで地域の産業観光ツーリズム 企画を立てる	グループで地域の産業観光ツーリズム 企画を立てる	
	学習 活動 (2) 分	学んだ事項の練習	発表	課題取り組み
	練習に対する フィードバック			
まとめ (5) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ	

コマシラバス

科目名	ツーリズム研究	時間	60分
科目目標	地域の特徴を生かしたツーリズム企画の立案する		
コマ目標	フード・ツーリズム		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習	
展開 情報提示 (3 0) 分 学習活動 (2 0) 分	新しい知識や 事項の提示	P34~36	フード・ツーリズムと事例	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学んだ事項の練習	グループで地域のフード・ツーリズム企画を立てる	グループで地域のフード・ツーリズム企画を立てる	課題取り組み
	練習に対する フィードバック			
まとめ (5) 分	評価			
	学習内容の振り返りと次回の講義の予告	気づきレポート提出	まとめ	

コマシラバス

科目名	ツーリズム研究	時間	60分
科目目標	地域の特徴を生かしたツーリズム企画の立案する		
コマ目標	フード・ツーリズム企画立案		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習	
展開 分	情報提示 (3) 分	新しい知識や 事項の提示		
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)	グループで地域のフード・ツーリズム企 画を立てる	グループで地域のフード・ツーリズム企 画を立てる	
	学習 活動 (2) 分	学んだ事項の練習	発表	課題取り組み
	練習に対する フィードバック			
まとめ (5) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ	

コマシラバス

科目名	ツーリズム研究	時間	60分
科目目標	地域の特性を生かしたツーリズム企画の立案する		
コマ目標	SDGsツーリズム		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5分)	注意喚起			
	学習目標の提示			
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習	
展開	情報提示 (3分)		SDGsツーリズムと事例	
	学習方法の提示 (理解を促進する手法)			
	学習活動 (2分)	グループで地域のSDGsツーリズム企画を立てる	グループで地域のSDGsツーリズム企画を立てる	課題取り組み
	練習に対する フィードバック			
まとめ (5分)	評価			
	学習内容の振り返りと次回の講義の予告	気づきレポート提出	まとめ	

コマシラバス

科目名	ツーリズム研究	時間	60分
科目目標	地域の特性を生かしたツーリズム企画の立案する		
コマ目標	SDGsツーリズム企画立案		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習	
展開 分	情報提示 (3) 分	新しい知識や 事項の提示		
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)	グループで地域のSDGsツーリズム企 画を立てる	グループで地域のSDGsツーリズム企画 を立てる	
	学習 活動 (2) 分	学んだ事項の練習	発表	課題取り組み
	練習に対する フィードバック			
まとめ (5) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ	

コマシラバス

科目名	カスタマーハラスメント	時間	60分
科目目標	様々な苦情・クレーム対応力を養う		
コマ目標	クレーム・カスタマーハラスメントとは		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示		クレームの重要性	授業態度
	前提条件の確認 (復習)			
展開 (情報提示) 分	新しい知識や 事項の提示	テキストP1~4	クレーム・カスタマーハラスメントとは	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学習活動 (学んだ事項の練習) 分	確認テスト	確認テスト	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	確認テスト解説	確認テスト解説	
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ	

コマシラバス

科目名	カスタマーハラスメント	時間	60分
科目目標	様々な苦情・クレーム対応力を養う		
コマ目標	違法行為例とクレーム対応		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			授業態度
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習	
展開 (情報提示) 分	新しい知識や 事項の提示	テキストP5～10	違法行為例とクレーム対応	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学習活動 (学んだ事項の練習) 分	確認テスト	確認テスト	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	確認テスト解説	確認テスト解説	
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ	

コマシラバス

科目名	カスタマーハラスメント	時間	60分
科目目標	様々な苦情・クレーム対応力を養う		
コマ目標	接客基本実習		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			授業態度
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習	
展開 (情報提示) 分	新しい知識や 事項の提示			
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学習活動 学んだ事項の練習	接客の基本実習	接客の基本実習	課題取り組み
	練習に対する フィードバック			
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ	

コマシラバス

科目名	カスタマーハラスメント	時間	60分
科目目標	様々な苦情・クレーム対応力を養う		
コマ目標	クレーム基本対応実習		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			授業態度
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習	
展開 (情報提示) 分	新しい知識や 事項の提示			
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学習活動 学んだ事項の練習	クレームの基本対応実習	クレームの基本対応実習	課題取り組み
	練習に対する フィードバック			
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ	

コマシラバス

科目名	カスタマーハラスメント	時間	60分
科目目標	様々な苦情・クレーム対応力を養う		
コマ目標	クレーム対応実習		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			授業態度
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習	
展開 (情報提示) 分	新しい知識や 事項の提示			
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学習活動 学んだ事項の練習	クレーム対応実習	クレーム対応実習	課題取り組み
	練習に対する フィードバック			
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ	

コマシラバス

科目名	カスタマーハラスメント	時間	60分
科目目標	様々な苦情・クレーム対応力を養う		
コマ目標	クレーム対応実習		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			授業態度
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習	
展開 (情報提示) 分	新しい知識や 事項の提示			
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学習活動 学んだ事項の練習	クレーム対応実習	クレーム対応実習	課題取り組み
	練習に対する フィードバック			
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	まとめ	

コマシラバス

科目名	サポートを必要とするお客様への接遇	時間	60分
科目目標	サポートを必要とするお客様への接遇ができる		
コマ目標	スムーズな移動が困難なお客様への対応知識(車いす)		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示		サポートを必要とするお客様への接遇 ができる意義	授業態度
	前提条件の確認 (復習)			
展開 (5) 分	情報提示 新しい知識や 事項の提示	テキストP1～10	車いすの移動の知識	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学習活動 学んだ事項の練習	確認テスト	確認テスト	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	確認テスト解説	確認テスト解説	
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	本日のまとめ	

コマシラバス

科目名	サポートを必要とするお客様への接遇	時間	60分
科目目標	サポートを必要とするお客様への接遇ができる		
コマ目標	スムーズな移動が困難なお客様への対応実践(車いす)		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習	
展開 (5) 分	情報提示 新しい知識や 事項の提示			
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)		車いすを用いた実習(広げ方・押し方・ブレーキ・キャスターの使い方・段差の上がり方・段差の下り方・溝の越え方・スロープの上がり下がり・車いすからの移乗・たたみ方)	
	学習活動 学んだ事項の練習	車いすを用いた実習(広げ方・押し方・ブレーキ・キャスターの使い方・段差の上がり方・段差の下り方・溝の越え方・スロープの上がり下がり・車いすからの移乗・たたみ方)	車いすを用いた実習(広げ方・押し方・ブレーキ・キャスターの使い方・段差の上がり方・段差の下り方・溝の越え方・スロープの上がり下がり・車いすからの移乗・たたみ方)	実習態度
	練習に対する フィードバック			
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返りと次回の講義の予告	気づきレポート提出	本日のまとめ	

コマシラバス

科目名	サポートを必要とするお客様への接遇	時間	60分
科目目標	サポートを必要とするお客様への接遇ができる		
コマ目標	スムーズな移動が困難なお客様への対応知識(杖使用者等)		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示		サポートを必要とするお客様への接遇 ができる意義	授業態度
	前提条件の確認 (復習)			
展開 (5) 分	情報提示 新しい知識や 事項の提示	テキストP11～15	杖使用者・妊婦・乳幼児・児童の移動の 知識	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学習 活動 学んだ事項の練習	確認テスト	確認テスト	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	確認テスト解説	確認テスト解説	
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	本日のまとめ	

コマシラバス

科目名	サポートを必要とするお客様への接遇	時間	60分
科目目標	サポートを必要とするお客様への接遇ができる		
コマ目標	スムーズな移動が困難なお客様への対応実践(高齢者)		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習	
展開 (5) 分	情報提示 新しい知識や 事項の提示			
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)		杖を用いた実習(段差の補助・見守り 方・階段上り下り補助・溝の越え方)、妊 婦への配慮、乳幼児を同伴するもの に対しての配慮)	
	学習活動 学んだ事項の練習	杖を用いた実習(段差の補助・見守り 方・階段上り下り補助・溝の越え方)、 妊婦への配慮、乳幼児を同伴するもの に対しての配慮)	杖を用いた実習(段差の補助・見守り 方・階段上り下り補助・溝の越え方)、妊 婦への配慮、乳幼児を同伴するもの に対しての配慮)	実習態度
	練習に対する フィードバック			
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	本日のまとめ	

コマシラバス

科目名	サポートを必要とするお客様への接遇	時間	60分
科目目標	サポートを必要とするお客様への接遇ができる		
コマ目標	スムーズな移動が困難なお客様への対応実践(高齢者)		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示		サポートを必要とするお客様への接遇 ができる意義	
	前提条件の確認 (復習)			
展開 (5) 分	情報提示 新しい知識や 事項の提示	テキストP16	高齢者の特徴	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)		高齢者に対する接遇実習(車いす、杖、 着座、移動など)	
	学習活動 学んだ事項の練習	高齢者に対する接遇実習(車いす、 杖、着座、移動など)	高齢者に対する接遇実習(車いす、杖、 着座、移動など)	実習態度
	練習に対する フィードバック			
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	本日のまとめ	

コマシラバス

科目名	サポートを必要とするお客様への接遇	時間	60分
科目目標	サポートを必要とするお客様への接遇ができる		
コマ目標	目が不自由なお客様への対応知識		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示		サポートを必要とするお客様への接遇 ができる意義	授業態度
	前提条件の確認 (復習)			
展開 情報提示 (5) 分 学習活動 (30) 分	新しい知識や 事項の提示	テキストP16～26	目が不自由なお客様への対応知識	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学んだ事項の練習	確認テスト	確認テスト	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	確認テスト解説	確認テスト解説	
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	本日のまとめ	

コマシラバス

科目名	サポートを必要とするお客様への接遇	時間	60分
科目目標	サポートを必要とするお客様への接遇ができる		
コマ目標	目が不自由なお客様への対応実習		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5分)	注意喚起			
	学習目標の提示			授業態度
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習	
展開 (30分)	情報提示 (新しい知識や 事項の提示)			
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)		目が不自由なお客様への対応実習(誘導の基本・誘導でしてはいけないこと・お客様から離れるケース・狭い場所の通り抜け・着席)	
	学習活動 (学んだ事項の練習)	目が不自由なお客様への対応実習(誘導の基本・誘導でしてはいけないこと・お客様から離れるケース・狭い場所の通り抜け・着席)	目が不自由なお客様への対応実習(誘導の基本・誘導でしてはいけないこと・お客様から離れるケース・狭い場所の通り抜け・着席)	課題取り組み
	練習に対する フィードバック			
まとめ (10分)	評価			
	学習内容の振り返りと次回の講義の予告	気づきレポート提出	本日のまとめ	

コマシラバス

科目名	サポートを必要とするお客様への接遇	時間	60分
科目目標	サポートを必要とするお客様への接遇ができる		
コマ目標	耳が不自由・言語に障害があるお客様への対応知識		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			授業態度
	前提条件の確認 (復習)			
展開 情報提示 (5) 分 学習活動 (30) 分	新しい知識や 事項の提示	テキストP27～31	耳が不自由・言語に障害があるお客様 への対応知識	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学んだ事項の練習	確認テストと簡単な手話	確認テストと簡単な手話	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	確認テスト解説	確認テスト解説	
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	本日のまとめ	

コマシラバス

科目名	サポートを必要とするお客様への接遇	時間	60分
科目目標	サポートを必要とするお客様への接遇ができる		
コマ目標	耳が不自由・言語に障害があるお客様への対応実習		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			
	前提条件の確認 (復習)		前回の復習	
展開 (5) 分	情報提示 新しい知識や 事項の提示			
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)		簡単な手話(指文字)、筆談、口話実習	
	学習活動 学んだ事項の練習	簡単な手話(指文字)、筆談、口話実習	簡単な手話(指文字)、筆談、口話実習	課題取り組み
	練習に対する フィードバック			
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	本日のまとめ	

コマシラバス

科目名	サポートを必要とするお客様への接遇	時間	60分
科目目標	サポートを必要とするお客様への接遇ができる		
コマ目標	伝えること・理解することが難しいお客様への対応知識		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			
	前提条件の確認 (復習)			
展開 (5) 分	情報提示 新しい知識や 事項の提示	P32~36	伝えること・理解することが難しいお客様への対応実習	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)			
	学習活動 学んだ事項の練習	確認テスト	確認テスト	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	確認テスト解説	確認テスト解説	
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	本日のまとめ	

コマシラバス

科目名	サポートを必要とするお客様への接遇	時間	60分
科目目標	サポートを必要とするお客様への接遇ができる		
コマ目標	外国人のお客様への緊急対応実習		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			
	前提条件の確認 (復習)			
展開 30) 分	情報提示 (5) 分	新しい知識や 事項の提示	伝えること・理解することが難しいお客様への対応実習	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)	外国人のお客様への緊急対応(避難・ 病気けがなどの対応)をグループで考 える	外国人のお客様への緊急対応(避難・ 病気けがなどの対応)をグループで考 える	
	学習 活動 (30) 分	学んだ事項の練習	外国人のお客様への緊急対応(避難・ 病気けがなどの対応)をグループで考 える	課題取り組み
	練習に対する フィードバック	発表	事例紹介	
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	本日のまとめ	

コマシラバス

科目名	サポートを必要とするお客様への接遇	時間	60分
科目目標	サポートを必要とするお客様への接遇ができる		
コマ目標	施設の改善提案		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			
	前提条件の確認 (復習)			
展開 (5) 分	情報提示 新しい知識や 事項の提示		伝えること・理解することが難しいお客様への対応実習	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)	車いす・杖使用者、目の不自由な人、 耳の不自由な人が使用すると仮定した 学校施設の改善提案	車いす・杖使用者、目の不自由な人、耳 の不自由な人が使用すると仮定した学 校施設の改善提案	
	学習活動 学んだ事項の練習	車いす・杖使用者、目の不自由な人、 耳の不自由な人が使用すると仮定した 学校施設の改善提案をグループで考える	車いす・杖使用者、目の不自由な人、耳 の不自由な人が使用すると仮定した学 校施設の改善提案をグループで考える	課題取り組み
	練習に対する フィードバック			
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	本日のまとめ	

コマシラバス

科目名	サポートを必要とするお客様への接遇	時間	60分
科目目標	サポートを必要とするお客様への接遇ができる		
コマ目標	施設の改善提案		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			
	前提条件の確認 (復習)			
展開 (5) 分	情報提示 新しい知識や 事項の提示		伝えること・理解することが難しいお客様への対応実習	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)	車いす・杖使用者、目の不自由な人、 耳の不自由な人が使用すると仮定した 学校施設の改善提案	車いす・杖使用者、目の不自由な人、耳 の不自由な人が使用すると仮定した学 校施設の改善提案	
	学習活動 学んだ事項の練習	車いす・杖使用者、目の不自由な人、 耳の不自由な人が使用すると仮定した 学校施設の改善提案をグループで考える	車いす・杖使用者、目の不自由な人、耳 の不自由な人が使用すると仮定した学 校施設の改善提案をグループで考える	課題取り組み
	練習に対する フィードバック			
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	本日のまとめ	

コマシラバス

科目名	サポートを必要とするお客様への接遇	時間	60分
科目目標	サポートを必要とするお客様への接遇ができる		
コマ目標	施設の改善提案		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			
	前提条件の確認 (復習)			
展開 30) 分	情報提示 (5) 分	新しい知識や 事項の提示	伝えること・理解することが難しいお客様への対応実習	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)	車いす・杖使用者、目の不自由な人、 耳の不自由な人が使用すると仮定した 学校施設の改善提案	車いす・杖使用者、目の不自由な人、耳 の不自由な人が使用すると仮定した学 校施設の改善提案	
	学習 活動 (30) 分	学んだ事項の練習	車いす・杖使用者、目の不自由な人、 耳の不自由な人が使用すると仮定した 学校施設の改善提案をグループで考える	課題取り組み
	練習に対する フィードバック			
まとめ (10) 分	評価			
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	本日のまとめ	

コマシラバス

科目名	サポートを必要とするお客様への接遇	時間	60分
科目目標	サポートを必要とするお客様への接遇ができる		
コマ目標	施設の改善提案		
評価方法	授業態度・課題取り組み姿勢		

学習段階		受講者の学習活動	講師の指導・支援	評価の観点
導入 (5) 分	注意喚起			
	学習目標の提示			
	前提条件の確認 (復習)			
展開 情報提示 (5) 分 学習活動 (30) 分	新しい知識や 事項の提示		伝えること・理解することが難しいお客様への対応実習	
	学習方法の提示 (理解を促進する 手法)	施設改善提案グループ発表	施設改善提案グループ発表	
	学んだ事項の練習			課題取り組み
	練習に対する フィードバック			
まとめ (10) 分	評価	グループ相互評価	グループ相互評価	
	学習内容の振り返り と次回の講義の 予告	気づきレポート提出	本日のまとめ	